



町消防団 団長。今年4月に団長に就任し、地域防災力の向上に務める。地域に愛される惣菜店「キッチン菓りん」の店長で、趣味は遠出での魚釣り。

堀田 高志さん
Takashi Hotta

〔緑町区〕

「備え」は、地域を守る力 今できる防災を一緒に

今年4月に町消防団長に就任し、地域住民の安心・安全を守る活動に従事するのは、堀田高志さん（緑町区）。地域住民など多くの人々に親しまれ信頼されるその人柄に

は、家業と地域への深い思いがあふれている。堀田さんの家業である惣菜店「キッチン菓りん」は、戦後まもなく町の商店街で惣菜屋を始めたのが出発点。「祖

父が始めた惣菜屋を、父が引継ぎ、母と一緒に店を支えてきてくれました」と堀田さん。現在は、店長として両親と共に店を切り盛りしており、「特別な注文がある日は、早朝3時から仕込みを始めることもあります。手作りの惣菜は手間がかかりますが、『おいしかった』と言われると嬉しいですね」と笑顔を見せる。

現在、町消防団員344人を束ねる団長として地域のために尽力する堀田さんが消防団に入ったのは、県外から地元へ戻った約25年前。「実は最初は入団を断ってたんです。でも何度も誘われて、断りきれなくて」と振り返る。入団当初は周囲に知り合いも少なく、活動にも消極的だったが、転機となったのは消防操法大会への参加だったという。「大会に選手として出場したことで、操法練習を通じて仲間との絆ができたんです。消防団員としての消火活動のスキル向上はもちろんですが、緊張感の中で息を合わせる経験は、実際の火災発生時の消火活動にも活かされています」と当時の思いを語る。

本町では、冬場の林野火災や近年利用者の増えた津志田河川自然公園のバーベキューでの火の不始末などが原因の火災なども発生している。「『火災ゼロ』を目指して、見回りや注意喚起などの予防活動にも力を入れていきたい」と意気込む堀田さん。火災が起れば、いち早く現場に駆けつけ、水利の確保や延焼防止に努める「地域防災の要」である消防団。「建物火災には消防署が主に対応しますが、私たち団員も大切な地域を守る重要な役割があります」と語る姿から強い責任感が伝わる。堀田さんは、「仕事と消防団の活動の両立は正直大変です。しかし、誰かがやらなければ地域は守れない。だから、自分にできる限りのことを続けていきたい」と穏やかな口調の中に確かな誇りをにじませる。

雨の多い季節を迎え、「梅雨時期は、火災だけでなく水害にも備えが必要です。土のう袋の準備や避難場所の確認など、できることから始めておいてほしいです」と、日々の暮らしの中の「備え」の重要さを訴える堀田さん。「消防団はいざというときに、地域住民の皆さんを守る力になります。皆さんも防災への意識を常に持ち、大切な命を守る行動を心がけてほしい」と呼びかける堀田さんの言葉には、日常と防災をつなぐ温かな思いが込められている。